

施設長 各位

那覇市医師会
会 長 山城千秋
担当理事 宮城政剛



「沖縄県知事のコメント」について

平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。

那覇市保健所経由でみだし資料のご案内がございましたので、よろしくご周知下さいますようご案内申し上げます。

(那覇市医師会のホームページにも掲載いたします)

☆ 問合せ先(那覇市医師会 事務局:上地・上原 / 電話 098-868-7579)

.....記.....

県知事コメント

令和3年1月6日(水)

去る12月14日に「年末年始の医療崩壊を回避するための緊急特別対策」を発出いたしました。県民の皆さまのご協力により、コロナ以外の病床利用率は90%以上から80%近くまで減少するなど、年末年始に手薄になる救急医療体制を維持することができました。

皆さまのご協力に感謝申し上げます。

一方、本日の新型コロナウイルス感染症の療養者数は390人、直近1週間の新規感染者数は306人となっており、緊急特別対策を発出した時点の状況から改善されておられません。依然として県の警戒レベルは第3段階にあり、引き続き予断を許さない状況が続いています。なお、昨日の新規感染者数は53人、本日は72人と報告されています。

データからは、時短要請に応じていない店舗において深夜に及ぶ大勢での宴会、クラスター発生が確認され、感染した参加者の一人が家庭内や、職場でも感染を拡げ、クラスターがさらに発生し、連鎖した事例などが確認されています。

ちなみに、自宅や友人宅における飲み会での感染事例も確認されています。自宅とはいえ、家族以外の人が集まる場合にも、換気やマスク着用、手洗いなどの感染対策を徹底することが必要です。

全国的にも感染が拡大し続けております。県内でも、正月休みに帰省してきた方が発症するなど、いわゆる往来による移入例が増えてきており、県外から帰省された方や、来訪者との接触の際には注意が必要です。

そのような中、政府においては、爆発的な感染拡大が続いている1都3県を対象に緊急事態宣言を発令することが検討されています。

沖縄県としても本日、対策本部会議を開催し、これまでの対策の成果の分析と、政府の緊急事態宣言発令を想定した上で、現在要請している営業時間短縮の取扱い等を含め、今後の対策に係る方向性を確認しました。

緊急事態宣言の発令の内容、関係団体や専門家の意見等を踏まえ、改めて1月8日に、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、本県の今後の対応方針を協議、発表することといたします。

さて、今度の3連休には多くの市町村で成人式が厳かに開催されると伺っております。希望を胸に成人の日を迎える皆さまに心からお祝い申し上げます。

家族や職場、親戚の皆さまにおかれましても、お喜びのことと思いますが、今年はコロナ禍の特別な式典になります。

新成人の皆さまにおかれましては、式典前後の宴会は、なにとぞ自粛していただき、是非、今までお世話になった家族の皆さまとゆっくりお過ごしください。周りの大人の皆さまにおかれましても、「もう大人だから」といって気を緩めることなく、良識を踏まえた晴れやかな大人のスタートの日となるよう、新成人を導いていただきたいと思います。

迎えた2021年が、新成人を含め県民の皆さまにとりましても、穏やかな1年となりますよう、引き続き感染拡大防止対策と一緒に取り組んでまいりましょう。